



伊藤 洋文
(よねしろ会)

公共工事の 評価システム

質問 市として、公共工事での低落札価格による影響をどのように考え、どのように対応しているか。また、評価システムによる評価実績と評価システムの実効性確保は。

答弁 低落札率での工事受注は、工事的物の品質低下等が危惧される。市では、予定価格1千万円以上の工事入札で低入札価格調査制度を導入している。平成16年6月の制度開始から4件が対象となったが、調査の結果、適正であると認め契約を締結している。また、工事の評価システムにより、これまで工事成績評定点が60点未満となった工事は9件あったが、今年5月1日から、60点未満となった場合には、施工業者へ努力要請を行うとともに改善報告書を提出してもらうこととしたほか、努力要請を受けた業者が1年以内に再度努力要請を受けた場合には、指名停止も含めて審査をすることとしている。

各産業界の代表 との情報交換

質問 県外や外国の顧客を対象に商売をしている各産業界のトップリーダーと少人数で定期的な情報交換することで、新たな助言や情報、要望が展開され市政運営に大きなプラスとなり、行政営業もスムーズになり、産業イーズにつながるのでは。

答弁 昨年は誘致済企業との意見交換会や企業訪問により情報交換を行っており、今年度も引き続き実施する。このような機会を活用していくとともに、同様の場があれば積極的に出向いてトップリーダーとの意見交換に臨みたい。トップリーダーと情報の交換を行うことは、行政のみならず、出席する各産業界のリーダーにとっても貴重なことであり好影響が期待できると考える。多忙なトップリーダーが定期的に一堂に会することが可能かどうかを踏まえ、情報の活用方法や対象企業の考え方、開催方法などの課題を整理しながら検討したい。

伊藤議員のその他の質問事項

- 低価格入札の実態
- 周辺集落の「店っこ」の利活用
- 風の松原の観光客誘致



柳谷 渉
(大河・生々・みどりの会連合)

イオン出店問題

質問 郊外型大型店は中心市街地の空洞化を一層加速させる。優良農地をつぶすばかりか、まちの形や地域の文化まで破壊しかねず、イオン出店以前に地域全体をどうしていくのかという市民合意が必要だ。市民への説明会を行う気持ちはないか。

答弁 今回の出店計画が、市民のため、市のため、圏域のためにプラスになると判断した。これまで行った議会への説明、各団体への説明、シミュレーションの公表などで説明責任は果たしてきたと思っている。こうした中で、能代まちづくり市民会議から地域住民の署名を添えて説明会開催の要望書が提出されたが、説明会の開催については、現在検討を行っている。できるだけ早い時期に結論を出していきたい。

柳谷議員のその他の質問事項

- 工事入札や物品購入契約及び二ツ井地域防災行政無線の工事
- 風の松原や街区公園などの保守点検

木造校舎建設の 木材調達

質問 第四小学校と二ツ井統合小学校は木造と決まった。2校合わせて3500立方メートル見当の地場産木材が必要になる。製品が反ったり割れたりしないよう、発注者の市は製材や加工の時間的余裕を考慮して十分配慮すべきだ。市長の考えはどうか。

答弁 原木や丸太の確保については、森林管理署や森林組合等への事前の働きかけ、納入トラブルには規格・検査・価格などについての協議機関の設置などが話し合われており、業界が対応できるよう早めの情報提供を心がけている。市としては、木材の必要量確保や乾燥期間等、品質の確保の観点から、実施設計がまとまり次第、数量を公開することで課題解決の一助としたい。両校の建設は今まで経験したことがない木材の使用量であり、一般製材や集成材等適材適所で使用していくことをワーキンググループ会議でも確認しており、産学官で協議を続け、課題解決に努力する。

